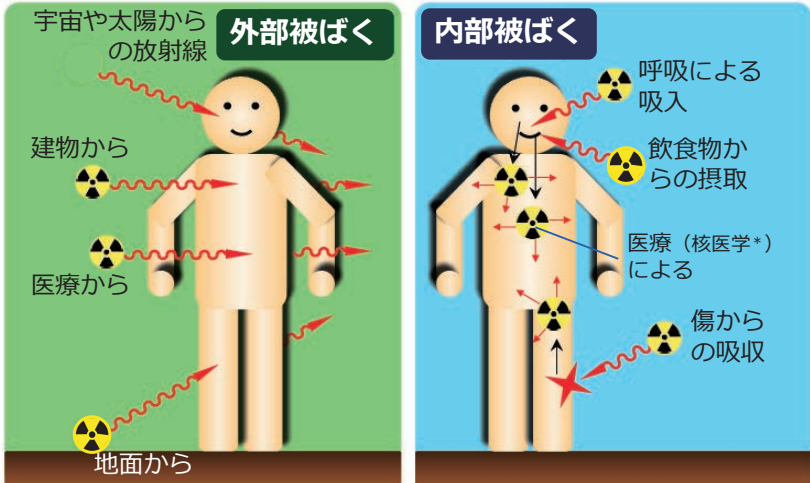


被ばくの経路

外部被ばくと内部被ばく



▶放射性物質（線源）が体外にある場合 ▶放射性物質（線源）が体内にある場合

*核医学とは、放射性同位元素(RI)を用いて診療や治療及び病気が起こる仕組み等の解明を行うことです。核医学検査で使用されている放射性医薬品は、人体に投与する影響等から、非常に半減期が短いRIが使用されています。
(国立研究開発法人 放射線医学総合研究所のウェブサイトより作成 <http://www.nirs.go.jp/usr/medical-imaging/ja/qa/q02/> 他)

放射線を体に浴びることを「放射線被ばく」といいます。

放射線被ばくには「外部被ばく」と「内部被ばく」の2種類があります。

体の外に放射性物質（放射線源あるいは単に線源ともいいます）があって、そこから被ばくすることを「外部被ばく」といいます。

一方、放射性物質が体の中に入ってしまった場合、体の中に放射線源があるので、体内で被ばくすることになります。これを「内部被ばく」といいます。

この区別は自然界からの放射線、事故由来の放射線、医療放射線といった区別とは関係なく用いられる言葉です（上巻 P58、「自然・人工放射線からの被ばく線量」）。

本資料への収録日：平成 25 年 3 月 31 日

改訂日：平成 28 年 3 月 31 日